

令和 8 年度

白浜町予算編成方針

総務課行政改革室財政係

＜令和８年度予算編成方針＞

1 経済状況と国の動向

内閣府が公表した７月の月例経済報告では、「景気は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復している。」とし、先行きについては、「雇用・所得環境の各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。」との判断が示されたことに加えて、「物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす景況なども、我が国の景気を下押しするリスクになっている。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要がある。」とも指摘している。

また、政府は、「経済財政運営と改革の基本方針２０２５」（令和７年６月１３日閣議決定）において、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」への移行を確実なものとするよう、物価上昇を上回る賃上げを起点として、国民の所得と経済全体の生産性を向上させ、地域の中堅・中小企業の最低賃金を含む賃上げの環境整備として、適切な価格転嫁や生産性向上、経営基盤を強化する事業承継・M&Aを後押しするなど、施策を総動員する必要があるとしている。

令和８年度においては、これらの経済情勢や国の政策の動向には十分注視し、情報収集に努め適宜対応していく必要がある。

2 本町の財政状況と今後の見通し ※図１～図８（普通会計決算状況）

令和６年度決算状況は、歳入総額１４２億８,２４０万円、歳出総額が１４０億４,１３０万円となり、歳入歳出差引額から翌年度繰越財源を除いた実質収支は１億２,８７６万円の黒字となったが、実質単年度収支は９,０１２万円の赤字となった。

歳入面においては、町税は定額減税に伴う個人住民税の減や固定資産税の減などから、令和５年度と比べ３.４％の減収となった一方、ふるさと白浜応援寄附金は過去最高額の約９億円となり、貴重な一般財源として財政運営上の依存度も高まっている。

歳出においては、清掃センターの長寿命化事業、富田地区津波避難タワー建設などにより普通建設事業費が増加し、また人件費や公債費など義務的経費も増加した結果、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は９４.４％となり、令和５年度と比べ１.１ポイント悪化し、財政構造の硬直化は依然続いている状況である。

今後の歳入の見通しは、町税収は令和８年度以降も概ね同等程度で推移していくと見込んでいるが、地方交付税は景気動向や町税収入等と連動することから、歳入全体としては大きな伸びは期待できない状況である。

一方、歳出では過去に借入れた起債の償還がピークを迎えているほか、扶助費等の社会保障関係経費の増加に加え、人事院勧告に伴う給与引き上げ等により人件費が大幅に増加すると見込んでいる。また、児童館複合施設建設事業や老朽化する公共施設の改修に係る費用の増加も見込まれていることから、令和８年度一般会計当初予算で

は多額の収支不足額が発生すると見込まれる。

財源不足を補うための財政調整基金からの取り崩しは、令和6年度は行わずに済んだが、令和7年度では当初予算及び補正予算において既に多額の財政調整基金繰入金を計上しており、このまま財政調整基金からの取り崩しが進んだ場合、数年後に予算編成が困難な状況となることが想定される。

3. 予算編成の基本的な考え方

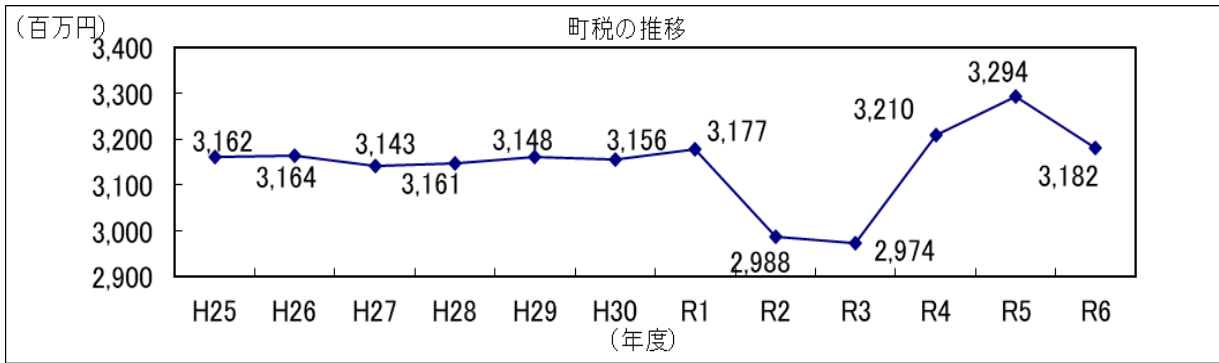
こうした厳しい財政状況の中であっても、多様化する町民ニーズに応えるべく、現在進めている「第2次白浜町長期総合計画」をはじめとする各種計画を着実に推進し、各種施策に取り組んでいかなければならない。

質の高い行政サービスを維持しながら本町の更なる発展に向けた投資を行っていくことは、言うまでもなく安定した財政基盤があってこそのものであり、中長期的な視点から持続可能な財政運営に向けた取り組みを計画的かつ継続的に進めていかなければならず、事務事業の取捨選択と見直しをこれまで以上に行っていく必要がある。

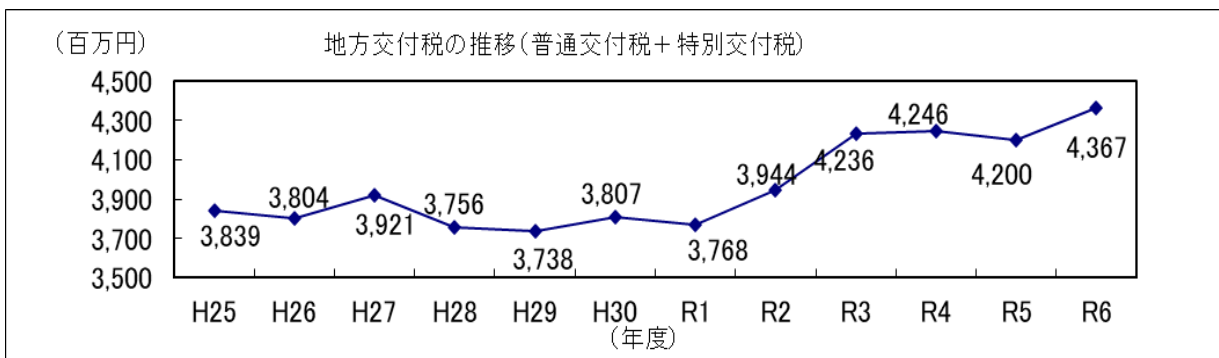
また、限られた行財政資源の効果的な活用を図るとともに、新たな財源確保策にも取り組むなど歳入対策も強化しなければならない。

令和8年度当初予算編成にあたっては、職員一人ひとりが本町の財政状況を十分に認識した上で、各事業の必要性や緊急性、優先度の観点から事務事業の選択と集中に取り組む、行政課題に対し最小の経費で最大の効果を挙げることを目指して予算編成に取り組むものとする。

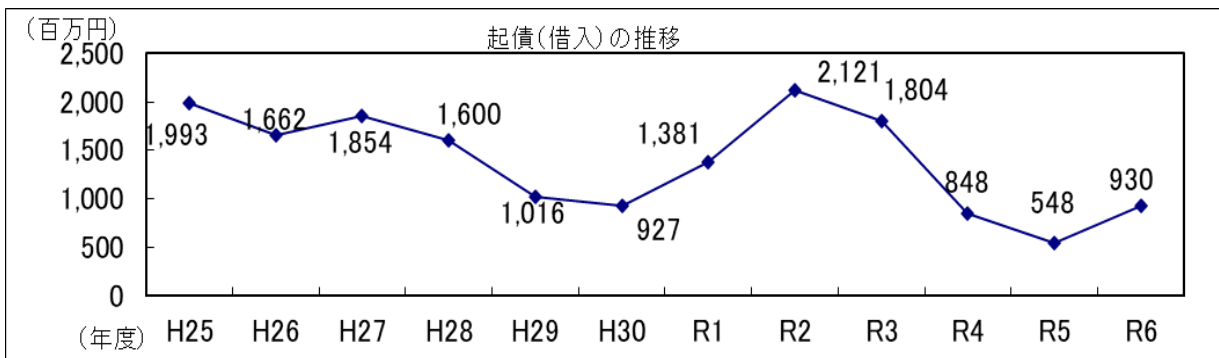
【図 1】町税の推移



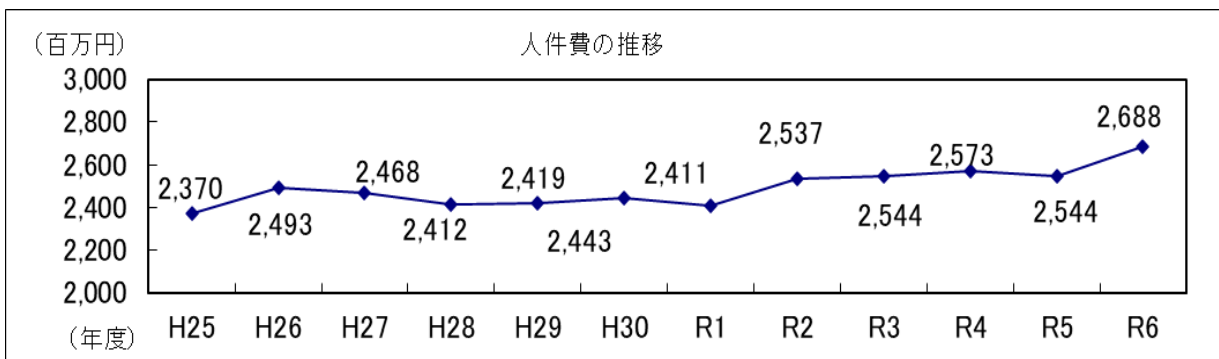
【図 2】地方交付税（普通交付税+特別交付税）の推移



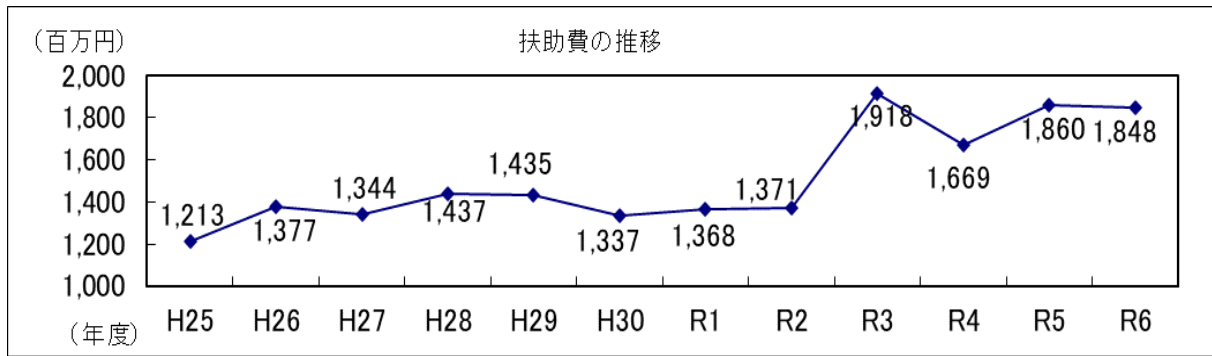
【図 3】起債（借入額）の推移



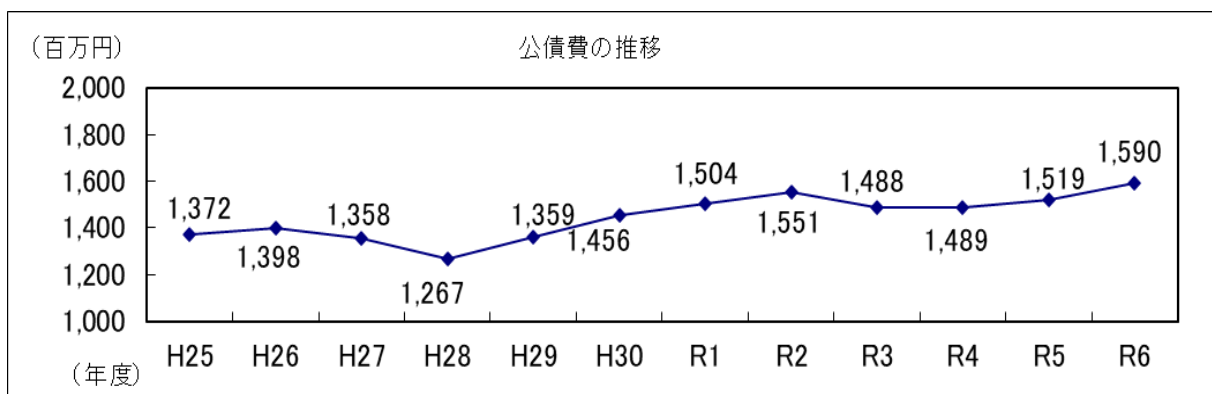
【図 4】人件費の推移



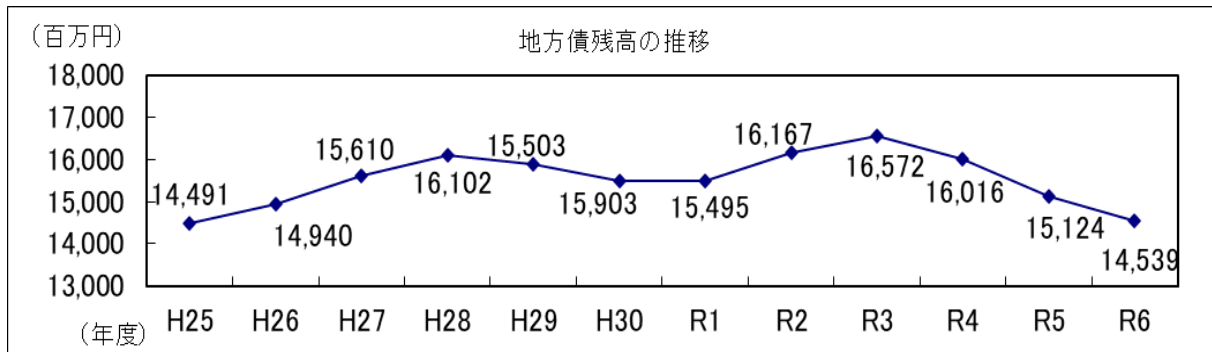
【図 5】 扶助費の推移



【図 6】 公債費の推移

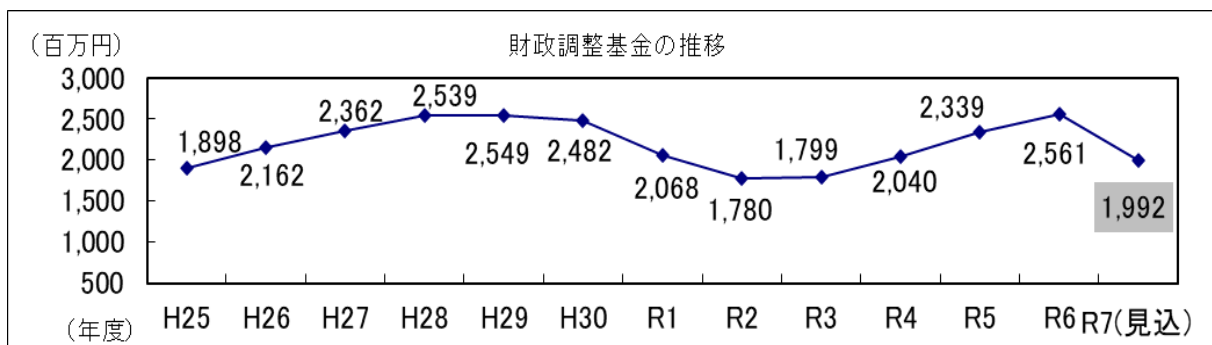


【図 7】 地方債残高の推移



【図 8】 財政調整基金の推移

※R7 は 9 補までの予算ベースでの R7 末決算見込み額



4. 予算編成日程について

令和7年

【8月】

- ・8月20日 予算編成方針等各課通知（課長会議）
- ・8月27日、28日 予算編成作業説明会

【10月】

- ・10月6日 予算（簡水・農排・下水）要求書等提出期限 ※期日厳守
- ・10月20日 各課予算（簡水・農排・下水）要求内容総務課ヒアリング
- ・10月15日 予算要求書等提出期限 ※期日厳守
- ・10月28日、29日、30日、31日 各課予算要求内容総務課ヒアリング

【11月】

- ・11月中旬 当初予算（簡水・農排・下水）査定（町長査定）
〃 当初予算（簡水・農排・下水）査定結果通知
※総務課→各課
- ・11月下旬 各課（簡水・農排・下水）重要要望事項町長ヒアリング
※予定日 令和7年11月20日（木）
〃 当初予算（簡水・農排・下水）最終査定（町長査定）
〃 当初予算（簡水・農排・下水）最終査定結果通知
※総務課→各課
- ・12月上旬 当初予算査定（町長査定）
- ・12月上旬 当初予算査定結果通知 ※総務課→各課
〃 各課重要要望事項町長ヒアリング
※予定日 令和7年12月3日（水）・4日（木）
〃 当初予算最終査定（町長査定）
〃 当初予算最終査定結果通知 ※総務課→各課

令和8年

【1月】

- ・1月上旬 町長説明及び最終調整
〃 予算書原稿作成及び入稿
- ・1月中旬 予算書作成
- ・1月下旬 当初予算議案上程